

この度、第 125 回あしぎん景況調査の結果がまとまりましたので、別紙の通り発表させていただきます。今回のポイント及び概要は下記の通りです。

記

1. 今回のポイント

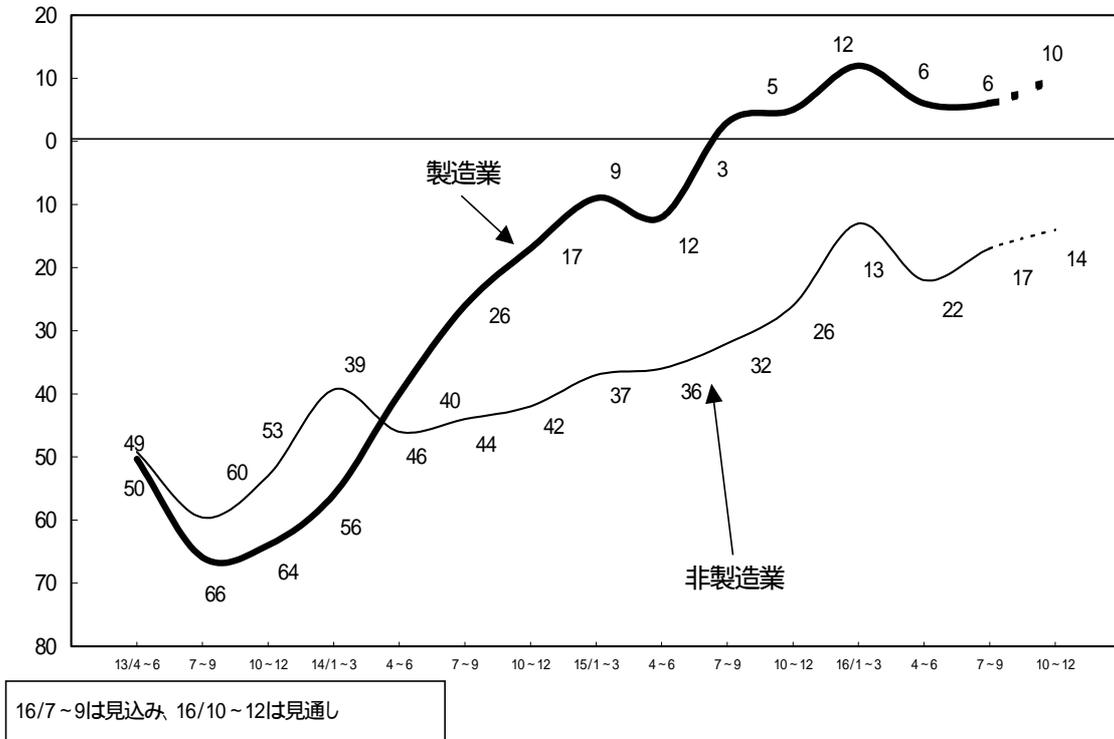
企業の景況感は、製造業、非製造業ともに緩やかな回復基調にある。

今期(16年7~9月期)の業況判断D.I.値は、製造業が6、非製造業が17となった。前期(16年4~6月期)に比べ、製造業は同ポイントとなり、非製造業は5ポイント改善した。

製造業では、業況判断D.I.値が5四半期連続で好転企業超となるなど回復基調が続いているものの、素材価格の上昇などを背景に足踏み状態となっている。一方、非製造業では、個人消費など需要面に回復の動きがみられ、緩やかな回復基調となっている。

先行きについては、不透明感は依然として根強く、企業の景況感は緩やかな回復にとどまるとみられる。

業況判断D.I.値



## 2. 概要

### (1) 製造業

#### 業況

業況判断D.I.値は、今期(16年7~9月期)6と前期実績と同ポイントであった。業種別にみると、紙・パルプ、プラスチック、木材・木製品など4業種が改善し、窯業・土石、精密機械、鉄鋼・非鉄、金属製品など6業種が悪化した。

来期(16年10~12月期)は今期見込みを4ポイント上回る見通しである。

#### 経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは5と前期実績を7ポイント上回った。業種別にみると、窯業・土石、飲・食料、繊維品、紙・パルプなど9業種で改善したものの、一般機械、精密機械の2業種で悪化した。

水準D.I.値の今期見込みは14と前期実績を5ポイント下回った。

#### 設備投資

実施企業割合の今期見込みは73%と前期実績を4ポイント上回った。また、投資額D.I.値の今期見込みは30と前期実績を11ポイント上回った。来期は実施企業割合、投資額D.I.値ともに今期見込みを下回る見通しである。

#### 雇用

前年比増減D.I.値の今期見込みは5と前期実績を3ポイント上回った。また、適正水準比D.I.値の今期見込みは3と前期実績と同ポイントとなった。

### (2) 非製造業

#### 業況

業況判断D.I.値は、今期(16年7~9月期)17と前期実績を5ポイント上回った。業種別にみると、小売、建設、卸売、サービスが改善したものの、運輸は悪化した。

来期(16年10~12月期)は14とやや改善する見通しである。

#### 経常利益

前年比増減D.I.値の今期見込みは12と前期実績を7ポイント上回った。業種別にみると、小売、建設、卸売が前期実績を上回り、サービス、運輸は前期実績を下回った。

水準D.I.値の今期見込みは3と前期実績と同ポイントとなった。

#### 設備投資

実施企業割合の今期見込みは54%と前期実績を2ポイント下回った。また、投資額D.I.値の今期見込みは33と前期実績を1ポイント上回った。来期は、実施企業割合は今期見込みを下回る見通しであるものの、投資額D.I.値は今期見込みを上回る見通しである。

#### 雇用

前年比増減D.I.値の今期見込みは14と前期実績を2ポイント上回った。また、適正水準比D.I.値の今期見込みは4と前期実績を3ポイント下回った。

### 3. 調査結果

#### (1) 製造業

今期実績見込み(16年7～9月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	6	前期比		0	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	5	前期比	+	7	ポイント
	(水準D.I.値)	14	前期比		-5	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	73%	前期比	+	4	ポイント
	(投資額D.I.値)	30	前期比	+	11	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	5	前期比	+	3	ポイント
	(適正水準D.I.値)	3	前期比		0	ポイント

- ・経営上の問題点「競争激化」、次いで「製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」、「商品(原材料)仕入価格の上昇」の順となっている

来期見通し(16年10～12月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	10	前期比	+	4	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	9	前期比	+	4	ポイント
	(水準D.I.値)	30	前期比	+	16	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	67%	前期比		-6	ポイント
	(投資額D.I.値)	27	前期比		-3	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	1	前期比		-4	ポイント
	(適正水準D.I.値)	1	前期比		-4	ポイント

#### (2) 非製造業

今期実績見込み(16年7～9月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	17	前期比	+	5	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	12	前期比	+	7	ポイント
	(水準D.I.値)	3	前期比		0	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	54%	前期比		-2	ポイント
	(投資額D.I.値)	33	前期比	+	1	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	14	前期比	+	2	ポイント
	(適正水準D.I.値)	4	前期比		-3	ポイント

- ・経営上の問題点「競争激化」、次いで「需要減退」、「製・商品(サービス)単価の値下がり、値上げ難」の順となっている

来期見通し(16年10～12月期)

・業況	(業況判断D.I.値)	14	前期比	+	3	ポイント
・経常利益	(前年比増減D.I.値)	9	前期比	+	3	ポイント
	(水準D.I.値)	16	前期比	+	13	ポイント
・設備投資	(実施企業割合)	49%	前期比		-5	ポイント
	(投資額D.I.値)	35	前期比	+	2	ポイント
・雇用	(増減D.I.値)	13	前期比	+	1	ポイント
	(適正水準D.I.値)	0	前期比		-4	ポイント